

2017-2018

Weekly Bulletin of KAKOGAWA CHUO R.C.

●R.I.会長／イアン・H.S.ライズリー ●地区ガバナー／瀧川 好庸
●会長／大西 淳滋郎 ●幹事／井上 孝明 ●クラブ会報委員長／宮本 鹿司夫
●事務局／〒675-0064 加古川市加古川町溝之口 800 番地 加古川商工会議所会 5F
TEL 079-421-5152 FAX 079-421-5559 E-mail info@kakogawa-chuo-rotary.club



ロータリー：
変化をもたらす

第 2125 号

平成30年 4月 26日 (木) No 37

卓話：研修協議会について

多木 有一会員

前川 忠範会員



★ 会長挨拶



★ 地区次期代表幹事
多木 有一会員



★ 地区次期総務幹事
前川 忠範会員

会長の時間

大西 淳滋郎

皆さん こんにちは。先週は、新渡戸稲造の『武士道』という書物には、日本人の道德観（生き方と考え方）を紹介しているとお話し致しました。新渡戸は『武士道』を次のように例えております。『武士道は桜の花のようである。』と桜の儂さと立派さで武士道を表現しております。また、『私達は気付いていないが、私達の頭上には昼間の月の様に武士道が輝いている。』とも表現しております。私達には見えないけれど昼間の月が私達を見ている様に武士道の道德観を表現しております。その中でも特に大事なものは、義と勇であり、周りに流されずに正義を守る勇気を持つこそが、人として正しいのだと記しています。

義とは、一言で言えば『正義の道理』、人として守らなければならない道のことです。義はフェアプレーの精神なのです。また、義は決断する力だとも訳されております。だから、義に反する行動を武士道では一番恥じたのです。

勇とは、どんな状況でも恐れることなく立ち向かっていく強さです。勇とは正しい行動をとる勇気です。論語にもある『義を見てせざるは勇なきなり』です。本当に勇気のある人間は常に穏やかで動揺しない人間なのです。

戦後アメリカが暫くの間、武士道をなぜ出版させなかったか。それはアメリカの脅威になる真のリーダーが再び育つのが怖かったからです。今の日本・日本人に足りないのは周りに流されずに正義を守る勇気を持つ事ではないでしょうか。なぜなら、たとえ社員が1万人いる会社であっても、たった1人の起こした不祥事で経営ができなくなる、会社の信用が地に落ちて存続が難しくなる、そのような時代だからです。つまり「100-1=99」ではなく「100-1=0」、もっと大げさにいえば「10000-1=0」になる時代なのです。そういった怖さを経営者が直感的に感じているから、いま社員に「コンプライアンス」を徹底させたり、企業倫理を教えたりしていると思います。

日本人のDNAには今でも武士道精神が老若男女に宿っています。関ヶ原の戦い・西南戦争・フランスコザビエルが訪日した当時からでも同じです。最近では、東日本大震災の時、被災者の方が整然と並んで配給を待ち、暴動などが一切起こりませんでした。この日本人としては当たり前前の行動に世界中からおしめない賞賛が集まりました。これこそ日本社会に脈々と息づいている「武士道精神」なのです。これからの時代、従業員たちの「人間力」と「志」の醸成は企業成長の肝となるでしょう。私は個人店の展開に必要な軸は「人づくり」とだと思っています。この「人づくり」とは、まさに武士道精神を根底とした道德心を説く教育が必要ではないかと考えております。仕事と人生は切っても切り離せないものです。だからこそ人間性を高めるために仕事をしていきましょう。会長の時間を終わります。